「免疫バイオ・創薬探索研究講座」研究状況報告会開催

平成２０年３月１４日（金）１４時より、生命科学先端研究センター研修室にて、寄附講座「免疫バイオ・創薬探索研究講座」研究状況報告会を開催した。

寄附者である富山県、協和発酵、富山県薬業連合会加盟の製薬企業１１社のうち９社の代表者様、ならびに富山大学関係者（鏡森定信理事、宮脇利男医学部長、岸裕幸免疫学准教授）に御出席頂いた。

初めに、高津聖志客員教授より本年度の概要報告があり、寄附講座が順調にスタートし、研究できていることに対し、ご支援を頂いている富山大学、富山県ならび製薬企業にお礼の挨拶があった。次に５名の研究室員により研究状況が報告され、活発な質疑応答が行われた（発表者および演題名は以下を参照）。最後に高津聖志客員教授より来年度以降の展開について説明が行われた後、閉会した。

【発表者・演題名】

客員准教授　長井良憲：Toll 様受容体による免疫・造血制御とその異常

非常勤講師　平井嘉勝：新たな糖尿病の予防と治療の探索―膵β細胞の健やかな未来のために―

協力研究員　本田裕恵：自然免疫に影響を及ぼす天然生理活性物質の探索

産学官連携研究員　佐々木澄代：自己免疫病の病態における自然免疫系の関与

客員教授　高津聖志：IL-5 と結核菌構成成分の免疫薬理学的解析